QuietComfort® 15

Acoustic Noise Cancelling headphones

取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止を意味します）。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●使用するとき

⚠警告

小さな部品は幼児の手の届かないところに置く
誤飲や窒息などの危険がありますので、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。

乗り物の運転中は使用しない
自転車、オートバイ、自動車などの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない
本ヘッドホンは、周囲の音を聞こえづらくする機能を持っています。踏切や駅のホーム、工事現場、横断歩道や車の通る道など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。事故の原因となります。また通常の環境であっても、警告音などは聞こえづらくなります。

携帯電話用アダプターを航空機の座席で使用しない
ヘッドホンを、携帯電話用アダプターを使って航空機の座席にあるヘッドホンジャックに接続しないでください。やけどや、過熱による周囲への損害の原因となります。

本機には磁気材料が含まれてます

大音量で長時間続けて聞かない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンのご使用時にはご注意ください。

⚠注意

装身具と併用しない
イヤリング、ピアスなどの耳に付ける装身具とヘッドホンを併用すると、けがの原因となることがあります。また、ヘッドホンの性能が損なわれたり、ヘッドホンを傷付けたりすることがあります。

音の聞こえ方の変化に注意する
ヘッドホンを使用した時、確認や注意喚起のための音声が普段と異なった感じで聞こえることがあります。必要な時に認識できるように、どのような変わり方をするかをご確認ください。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

落としたり、ぶつけたり、上に物を乗せたりしない
故障の原因となります。

ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない
ほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。

●電池使用時

⚠警告

電池内部から漏れ出た液（電解液）には直接ふれない

- 液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 液を舐めた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

指定された種類以外の電池は使用しない

発熱や破裂、液漏れにより、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池を加熱、火の中に入れるなどしない

過度に温度が上がった場合、および火中投入した場合には、電池の内圧が高まり、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池を分解しない

無理に電池を分解しようとすると、手指を傷つけたり、電池内部の電解液が飛び散って衣服を損傷したり、皮膚のただれや化学やけどを起こすばかりでなく、目に入った場合には、失明するおそれがあります。

電池のプラス+とマイナス−をショートさせない

ショート（短絡）させると電池は激しく発熱し、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。ショート（短絡）事故防止のためコイン、ネックレス、ガムの包装紙などの金属と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。また、アルミホイル、ガムの包装紙などで電池を包まないでください。

乾電池は充電しない

破裂や液漏れにより、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池端子に直接はんだ付けをしない

電池を加熱することになり、温度上昇によって使用している樹脂部品の変形を生じ、液漏れ、内部ショートなどの異常を生じ発熱、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

⚠注意

種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

混用すると液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。未使用の電池と使用済み、または、使いかけの電池を混ぜて使うと、早く消耗した電池が過度の放電状態（過放電）となり、不経済なばかりではなく液漏れ、破裂の原因となります。

投げつけたりして強い衝撃を与えない

電池を変形させないでください。電池を落下させて変形させたり、無理な力を加えて変形させると、電池封口部のゆがみによって液漏れ、内部ショートなどの異常を生じ発熱、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

使い切った電池はすぐに機器から取り出す

過放電させると液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

極性表示 (プラス+とマイナス−) に従って正しく入れる

電池のプラス+とマイナス−を逆に接続すると、充電されたり、機器によっては電池がショート（短絡）状態になり発熱、液漏れ、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

正しく処分する

乾電池は一般の不燃ごみとして処理してよいことになっていますが、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。端子部に他の電池が接続すると、電池が充電または、過放電され、破裂や発火することがあります。廃棄時には端子部にセロファンテープなどを貼り付けて絶縁してください。

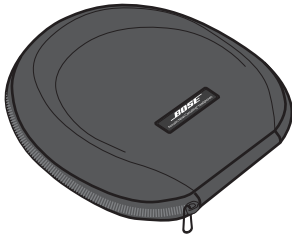
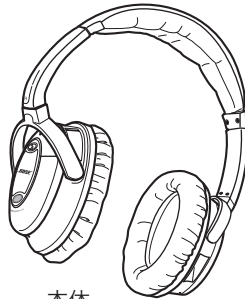
特　長

アコースティックノイズキャンセリングヘッドホン QuietComfort® 15とは

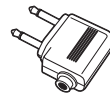
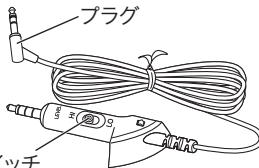
この度は QuietComfort® 15 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このアコースティックノイズキャンセリングヘッドホンは、30 年にもおよぶ研究開発によって生まれた高次元のノイズキャンセリングテクノロジーを採用しています。
臨場感のあるクリアな音と快適な装着感、これまでにないノイズキャンセリング性能をお楽しみください。

内容物

内容物

いろいろな場合でご使用いただけるように、プラグアダプターやキャリングケースを付属しています。

キャリングケース

本体

機内用デュアルプラグ
アダプター

プラグ

LO/HI切替スイッチ

乾電池（単4）

音声信号入力ケーブル（168cm）

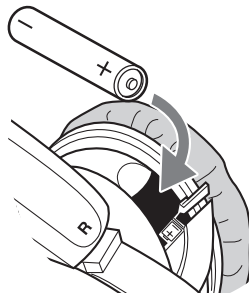
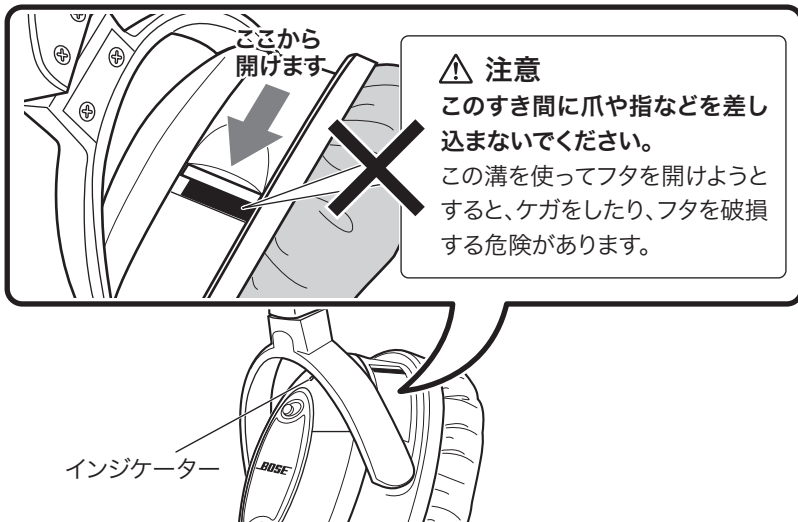
もし開梱時に損傷などが発見された場合や、内容物が不足しているときはそのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。
そのままでのご使用はおやめください。また、箱や梱包材は、後日製品の修理メンテナンス等が必要になった場合のため保管しておくことをおすすめします。

使い方

●電池の入れ方

本製品には単 4 アルカリ乾電池をご使用ください。新品のアルカリ乾電池を使用した場合で、約 35 時間※1 ご使用いただけます（ただし、再生する音量や周囲の騒音レベルによって使用時間は異なります）。電池の残量が 5 時間※2 以下になると、右側イヤーカップのインジケーターが点滅し、電池の交換時期であることをお知らせします。電池の交換時期になりましたら、新しい単 4 アルカリ乾電池 1 本と交換してください。

※1：本製品は充電式電池も使えますが、アルカリ乾電池に比べ連続使用時間が短くなる場合があります。

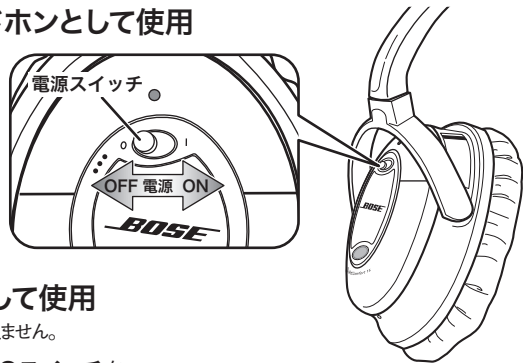
※2：充電式電池を使用した場合、電池の残量を示すインジケーターの点滅開始がアルカリ乾電池の場合と異なり、点滅を始めてから使えなくなるまでの時間が短くなります。充電式電池でご使用になる場合は、点滅開始後早めに電池を交換してください。

使い方

●携帯電話の近くで使用するとノイズが聞こえることがあります。

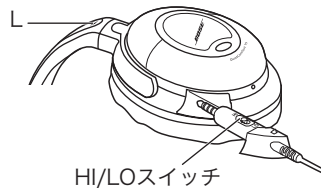
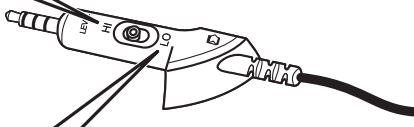
●ノイズキャンセリングヘッドホンとして使用する場合も、オーディオ用ヘッドホンとして使用する場合も必ず右耳イヤーカップ上の電源スイッチを ON にしてください。インジケーターランプが点灯します（電源スイッチが OFF の時には音楽を聞くことも、ノイズキャンセリングも働きません）。

●使用しないときは必ず電源スイッチを OFF にしてください。

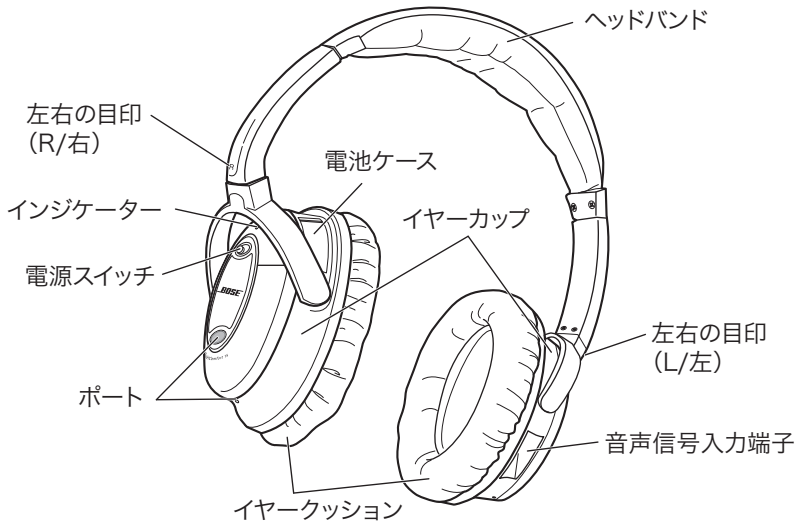
●ノイズキャンセリングヘッドホンとして使用

・電源スイッチをONにするとノイズキャンセルが働きます。

●オーディオ用ヘッドホンとして使用

※電源スイッチをONにしないと音楽が聞こえません。

1. 音声信号入力ケーブルの**HI/LOスイッチ**を**HI**に合わせます。
2. 左用のイヤーカップ側面にあるジャックに挿入します。
3. 電源スイッチをONにします。
4. 音が大きい場合は、電源をOFFにして音声信号入力ケーブルのプラグを引き出し、**HI/LOスイッチ**を**LO**に切り替えます。

HI：お手持ちのCDプレーヤー等ポータブルオーディオ機器に接続したいとき（音が小さすぎると感じたとき）

LO：飛行機内の映画や家庭用AV機器を聞きたいとき（音が大きすぎると感じたとき）

※付属の機内用デュアルプラグアダプターは、プラグ差し込み口に合うように、必要に応じてご使用ください。

各部の名称

その他の注意事項

●イヤーカップの外側にあるポートに異物が入らないようご注意ください。

●スプレータイプのものや液体化学洗剤は使用しないでください。

●ヘッドホンを持ち歩く場合は、 必ずキャリングケースに収納して持ち運んでください。 キャリングケースに収納せずにヘッドホンを携帯すると故障や破損の原因になります。携帯時には必ずキャリングケースをご使用ください。

お手入れについて

●汚れた場合は、湿らせたきれいな布で汚れを拭き取ってください。ただし、水分がポートやイヤーカップの内側に入らないようご注意ください。

装着方法

快適かつ効果的にお使いいただくために

・イヤーカップの真上にある、ヘッドバンドについているＬ（左）とＲ（右）の目印に合わせて、Ｌ側が左耳にＲ側が右耳にくるようお使いください。

・イヤーカップのクッションがしっかり耳を覆うように、ヘッドバンドの長さとイヤーカップの向きを調節してください。

・ヘッドバンドは、頭が軽く抑えられるように長さを調節してください。

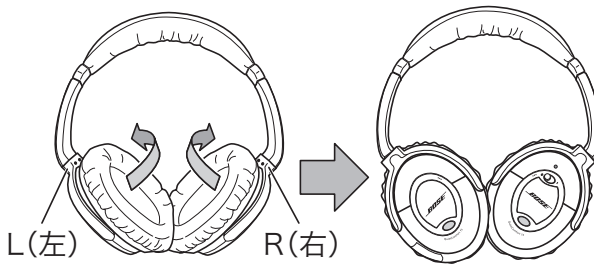
正しく装着してますか？

・イヤークッションが耳をすっぽり覆っていますか?

・耳の周りに均等な力でイヤークッションが当たっていますか?

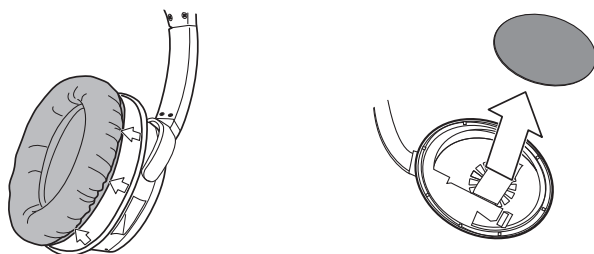
・ヘッドバンドを強く頭に押し当てていませんか?
（頭が軽く抑えられている程度が適当です）

・イヤリング、ピアスなどの装身具は外していますか?

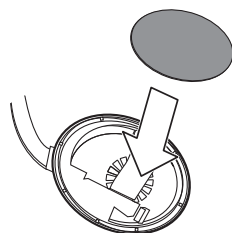
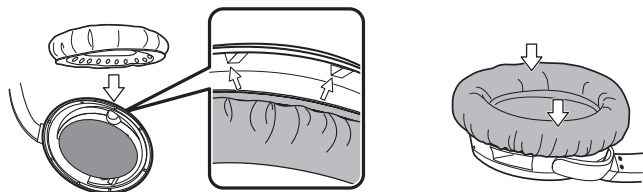
収納、持ち運びしやすくする為に図のようにすることができます。

※回転可能な方向が決まってますので無理に反対方向へ回して破損させないようにご注意ください。

取外方法 / 取付方法

イヤークッションの取り外し方について

イヤーカップについているクッションを下図のように外してください。

イヤークッションの取り付け方について

イヤーカップについているクッションが外れたら、次の方法で取り付けてください。
また、イヤークッションを交換するときの手順も同様に行ってください。

1. クッションを取り替えるときは、イヤーカップ内部の黒いメッシュ布も一緒に取り替えてください（パッケージに含まれています）。 両面テープでしわにならないよう固定し、クッションの内側に布が収まるように取り付けてください。

2. クッションのつばの部分をイヤーカップの爪の隙間に差し込むようにはめます。反対側はクッションの縁をイヤーカップに合わせて、つばの部分を爪などで押し込んではめ込みます。

3. クッションが均一にイヤーカップ全体を覆っていることを確認します。

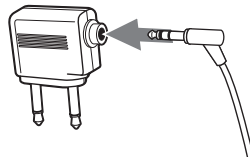
取り替え用イヤークッションの注文は、お買い上げになった販売店までお問い合わせください。

接続について

航空機の座席にあるヘッドホンジャックとの接続について

座席にあるヘッドホンジャックは航空機によって違います。下の図で接続方法を確認してください。

ジャックの形状	接続方法
3.5mm 音声ジャックのみ ●	音声入力ケーブルをそのまま接続してください。 機内用デュアルプラグアダプターは使用しません。
3.5mm 音声ジャックと電源ジャック ● •	音声入力ケーブルをそのまま接続してください。 電源ジャックには何も接続しません。
3.5mm 音声ジャック ×2 ● ●	付属の機内用デュアルプラグアダプターを使用して接続してください。
3.5mm 音声ジャック ×2 と電源ジャック • ● ●	付属の機内用デュアルプラグアダプターを使用して接続してください。 電源ジャックには何も接続しません。

機内用デュアルプラグアダプターの使い方

⚠ **警告**

使用禁止

携帯電話用アダプターを航空機の座席で使用しない

ヘッドホンを、携帯電話用アダプターを使って航空機の座席にあるヘッドホンジャックに接続しないでください。やけどや、過熱による周囲への損害の原因となります。

故障かな?と思ったら

トラブル	原因	対処方法
ノイズがキャンセルされない	本体の電源が入っていない可能性があります。	本体の電源を入れてください。電池が入っているか、残量が充分か確認してください。
音が小さすぎる、聞こえない	接続先の機器の設定が正しくない可能性があります。	接続している機器の音量を上げてください。音声信号入力ケーブルのスイッチをHIにしてください。
バチバチという音がする、ノイズキャンセル効果が途切れる	電池の残量が足りない可能性があります。	電池を新品と交換してください。
低くゴロゴロという音が聞こえる	イヤーカップがしっかり装着されていないか、ポートが塞がれている可能性があります。	イヤーカップが耳をすっぽり覆うように装着してください。ポートを塞いでいる異物等を取り除いてください。
音が歪んで聞こえる	音源側の出力に低音ブーストがかかっている。	ブーストを切って、ご使用ください。
ブーン、ズズズといったノイズが聞こえる	近くにある携帯電話やコンピュータ関係の機器の雑音を拾っている。	ノイズを発生する機器から遠ざけてご使用ください。
音が大きすぎる	接続先の機器の設定が正しくない可能性があります。	接続している機器の音量を下げてください。音声信号入力ケーブルのスイッチをLOにしてください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル　0570−080−023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル　0570−080−021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

その他の特記事項

- 本体はノイズをキャンセルし、快適に音楽を楽しんでいただくことを目的に設計されていますが、パイロット用やFAAに定められている飛行中のコミュニケーション用としては設計されていません。本来の目的以外には使用しないでください。
- 飛行機内でのご使用に際しては、各航空会社の指示にしたがってください。

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒150-0036　東京都渋谷区南平台町16-17 渋谷ガーデンタワー 5階

● 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
● 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1432-E
12・11 （B）